

平成26年4月第4回教育委員会定例会

【日 時】平成26年4月30日（水）午後1時30分～午後4時25分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】福光純一委員長・河本恒夫委員長職務代理者・磯江典子委員・光村哉智代委員・岩垣教育長・西村教育総務課長・杉本生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課室長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 磯江委員、光村委員を指名

2 行政報告

教育長

・4月10日鳥取県教育行政連絡協議会について

※平成26年度事業及び機構改革について説明。

・家庭・地域教育：社会教育課⇒小中学校課

・スポーツ：スポーツ健康推進課⇒体育保健課（学校体育・健康）

スポーツ：地教行法特例⇒知事部局：スポーツ課。

スポーツと観光の結びつけ：東京オリンピック誘致

・図書館：学校支援

・文化博物館：ふるさと未来創造力 前田明範講師 実習

学校教育への期待が大きい。学校は地域とともに。評議員制度。学校運営協議会は集中している。

・校長会・教頭会・PTA歓送迎会への出席について

・鳥取中央育英高校地域探求講座について

※横山校長より松本町長へメールがあり。

地域に貢献できる人材の育成－北栄町で何かできないか。

校内でも委員会を立ち上げ、町においては、政策企画課・産業振興課と連携しながら取り組みの協議。日程調整中。

少子化による人員減－高校再編－郡内唯一の高等学校

・教育連絡会について

※万引きについて

・教育委員会制度改革について

※衆議院で審議入り。

（委員）免許証の確認作業の廃止とは。

（教育長）運転免許証のこと。以前、免許証の偽装があり確認をしていたものだが、県教委から廃止の通知があったもの。ただし、学校内ではしっかりと確認することを申し合わせたもの。

教育総務課長

- ・第3回定例教育委員会の開催について
- ・こども園・保育所 卒園式・卒所式について
- ・転任・新任教職員着任式について
- ・新任・転任教職員の町内巡りについて
- ・入学（園・所）式について
- ・不審者対応について
- ・平成26年度全国学力・学習状況調査について
- ・学校行事について
- ・今後の行事予定について
- ・（追加）4月25日殺傷傷害について
- ・（追加）フッ化物洗浄の検討について

生涯学習課長

- ・人権教育地区推進員研修会について
- ・家庭教育12か条キャンペーンについて
- ・北条文化会館整備譲渡事業について
- ・婦人会総会について
- ・北栄てくてくウォーキング「桜と菜の花ウオーク」について
- ・シニアクラブ開講式について
- ・高校生さわやかマナーアップ運動について
- ・北栄町スポーツ推進委員協議会について
- ・北条歴史民俗資料館企画展「田熊誠木版画展」について
- ・青少年育成北栄町民会議総会について
- ・今後の行事予定について
- ・その他特徴的な事項について
 - ・人権学習について
 - ・スポーツグランプリ制度（素案）の検討について

（委員長）不審者対応の方法は。

（事務局）こどもから保護者へ。保護者から学校へ連絡し、会議を開催。北条では土曜日にまちcomで全保護者で周知、大栄は月曜日に文書で周知した。

（委員）ルールはないのか。

（事務局）何かが発生すれば連携するようにしている。

（委員長）保護者から学校へ連絡することを徹底すること。

（委員）休日でも警察に連絡をすること。

（委員長）休日でも担任に連絡をすること。

（委員）高校でもメールが入る。

（教育長）パープルタウンの情報も教育委員会に入ってきた。情報がないと色々考え

てしまう。

(委員) 近所に人から通報があり警察へ連絡。曲がりのあたりをパトロールしたが不審者はなし。警察もパトロールしている。

(委員長) 地域を守る態勢を確認して欲しい。PTA意見交換会でも。

(委員長) スポーツグランプリ制度、スポーツ振興を協議するのは審議会ではないか。

(事務局) 審議会で協議しなくてもできると考え事務局で推進している。

(委員長) どのような方針で行くのかを審議会で協議してはどうか。

(事務局) 協議したい。

(委員) スポーツグランプリの基本的な考え方、表彰をすることが活性化を推進することか。

(事務局) そういうこともある。よりスポーツに参加してもらうため、自治会単位で表彰することを目的に掲げて参加促進するもの。どのようにしたら参加が促進できるかが目的。

(委員) 参加促進が目的。支援であれば他に方法があると考え。その方法は表彰ではないものがあると考え。

(委員) もりあがり、自分のところでは、バスケ、卓球は参加し、他は役員の好みもあり参加もどうかとなる。集まって何か出来る支援は何かないのかと考える。

(委員長) 自治会に持ち帰った時になんだこれはという声があった。

(事務局) 色々な声があると考え。それを提案すると声が聞ける。スケジュールをとって検討する。町とスポーツクラブの関係もあり、スポーツクラブの考え方も尊重したい。3者で協議が必要である。自治会のスポーツ振興やスポーツクラブの加入促進を図っていききたい。関係者の声を聞いて進めて行ききたい。

(委員) 時期にあったものが何かあったらいい。参加しやすい。

(事務局) 賞金も一つの方法。自治会の負担感もある。自治会が参加する動機づけになるような取組みを検討したい。

(委員長) スポーツを活性化することは町の活性化につながる。色々な意見を聞いてやってもらいたい。

(委員) さわやかマナーアップ運動は多くの参加者があり嬉しい。

(委員長) 大島自治会で放送した。繰り返しやっていききたい。

(委員) 6年間の感謝のあいさつがこどもからあった。

(事務局) 強制ではできない、自主的な取組みを広げて行ききたい。

(委員長) 自治会長会のテーマとしてはどうかと考える。

3 議 事

議案第20号 北栄町教育行政評価委員の委嘱について

※原案のとおり承認。

議案第21号 学校評議員の委嘱について

(委員) 北条小・中学校は、学校の関係者が多い。PTA関係者。

(委員長) 以前にも意見があった。

(委員) 今回はいいが、来年度は変えてもらいたい。

(事務局) 関係者が多い。

(教育長) 第3者評価もありかかわりのある方を選出したようだ。

(委員長) 学校の応援団、学校の評価と2通りある。どちらをとるかという面がある。

(委員) 外部評価から見た方がいいと考える。

(委員長) 北条地区は伝えてもらう。

※原案のとおり承認。

議案第22号 小・中学校主任等の任命について

※原案のとおり承認。

4 協議事項

(1) 北栄町環境審議会委員の選出について

※ 河本 恒夫 職務代理を選出。

(2) 北栄町人権教育・啓発推進協議会役員の選出について

※ 福光 純一 教育委員長を選出。

(3) 平成26年度保育所・こども園・小・中学校計画訪問について

・テーマ：資料の変更について

(委員長) 学校要覧だけでいい。

(事務局) 学校要覧と他の資料でいいと考える。

(委員) 所帳簿の閲覧は。

(事務局) 見る時間はないので夏休みに指導主事が見ている。希望があれば残すが。

(委員) 事務局が確認し報告してもらえばいい。

(委員) 学校訪問の日程は。

(事務局) 封筒に入れている。

(委員長) 教育連絡会、校長、園長の説明、本校の課題を中心に説明して欲しいということを伝えてほしい。

※ 資料2のとおり決定。

(4) 土曜授業について

(委員長) 本町の児童等の土曜日の過ごし方は。全国学テだけではないところの把握は。社会教育団体、PTA、保護者の思いの把握が必要。アンケートの実施も必要。

(委員) アンケートも必要とお膳から追っていたが出来ていない理由はあるのか。

(事務局) 方針を決めてやり始めたらいいと考える。実態の把握が必要。

(委員長) 1学期中に方針を決めた方がいいと考える。

(委員) 教育委員会としての方針を決めた方がいい。スピード感もあるし進んでいかない。

(委員長) ただの土曜授業でいいのか。教育ビジョンでいうこのための必要性を求め進めることが必要ではないかと考える。学校等の意向をしっかりと把握してやりたい。例えば、小中一貫した取り組み、連携して行う。土曜日に集中してやるなど。しなければいけない理由、しなくてもいい理由が分らないが。

(委員) 運動会や参観日で代休を与えなければ土曜授業となる。参観日というのはどうか。

(委員長) いつもまでも引っ張るわけにはいかない。次の要領の改正は2020年。

(教育長) 文部科学省は、道徳など前倒し手実施すると考えられる。

(委員長) まってられない。

(委員) JAアグリキッズも連携してやることもあり。

(委員) アンケートをもって学校・保護者の意見はこうでという中で、検討すると思っていた。通常の平日の6限が土曜日となるようなこともありかなと言う保護者もあった。土曜授業への意見を参観日の懇談でやってみてはどうか。保護者は土曜授業はあつたらうかと話をしている。

(委員長) アンケートは5月中にやってみてはどうか。

(委員) 教育ビジョンに求める子どもが出来ているが、調査をする必要があるのではないか。そこから土曜日でも学習をしないといけないというのが出てくる。それと検証するために保護者アンケートも必要となる。この順番が普通であると考え。アンケートすぐするのは教育委員会の主体性がないのではないか。教育委員会の方向性があって進んでいくのが必要ではないか。

(委員長) 教育ビジョンが目指す子ども像の検証をして課題を抜き出すことで方向が出てくる。

(委員) どういう物差しで測るのか。

(委員長) アンケート、子ども、教員、保護者の思い。

(委員) 単純な数値では測れない。

(教育長) 今までやっていない。子どもは実態の調査、保護者は意向調査。尺度は難しい。壮大な構想となる。

(委員長) 壮大な構想も考えなければいけない。壮大なことではなくても子どもの課題を見出していく必要がある。そういう検証があつて土曜授業の位置づけがある。

(委員) 小学生の卒業式で夢を言うが、その検証をやってみるとわかりやすい。例えばの例。

(委員) 保護者アンケート実施、同時に北栄町の課題の洗い出しを行う必要がある。

(委員長) 県教育長の実態が変わってきたの意味が分らない。早期のアンケートを実施する。5月8日土曜授業の意見を聞く。子どもたちの実態を把握する。教育ビジョンに基づいて行う。

(委員) 校長、PTA役員が集まって協議する場が欲しい。

(事務局) 教育委員会の方向性をある程度決めてからでないといけない。

(委員) 実態がよくわからない。

(委員) 計画訪問のまとめをすれば出てくる。課題は何かで訪問している。まとめがあればわかる。

(事務局) 前年度の課題を流用することもある。

(委員) データ化すると色々な場面で活用出来る。

(事務局) 事務局で案を作り協議会で検討してもらう。

(委員長) 事務局に情報が入っている。委員は報道資料がほとんどで分らない。

(事務局) 方向性がないとスケジュールが決まらない。

(委員) やり方によっては教員が何をやっているのかと疑問が出る。判断にはデータがいる。考え方を持っていてアンケート等のデータにより判断する。

(委員) 教員のアンケートも取るのか。

(事務局) 幅広いデータがあってもいい。

(委員) 色々な考え方がある。

(委員長) あってもいい。

(委員) いまでも土曜日、日曜日に仕事をしている人が多いと聞くが。

(事務局) 家でもやっている。中学校は部活動で出ている。

(委員) 土曜日、日曜日の賃金は発生しないのか。あってもいいのではないかと考える。

(委員長) 協議することがある。協議していく。

(委員) 進める準備をしていき、必要に応じて出て協議する。

※ 継続協議。

5 報告事項

・教育委員会制度改革について

(委員) 教育の再生を図るためとあるが。政治的中立性、継続性、安定性があるが。

(教育長) 戦前の教育で政治的な要素がたくさんあり、戦争に突入していった。戦後教育ではその反省を踏まえアメリカ主導で教育の在り方が決められた。教育は、政治と一線を画し、義務教育として現在の教育が築き

あげられた。現在、高度経済成長が終わり、ゆとり教育、いじめなど社会の変化があり課題が浮き彫りになってきた。その見直しが必要となっているのではないか。

・各課の事務分担表について

(委員) 図書館について、図書館ボランティアに関することとあるがどういったことか。

(事務局) 現在募集をしている。図書館で運営している。

小中学校にも広げて行きたい。大人になっても利用してもらうようになってもらいたい。

(委員) 視聴覚ボランティアに関することは。

(事務局) パソコン、ビデオ上映に関することである。自治会が運営したいと希望があった時に答えるもの。プロジェクターの貸し出し。

(委員) 人権・同和の表現がある。人権とすべきである。

(委員) 給食センターの委託の状況は。

(事務局) 順調に行っている。味付けが良くなった。業者のノウハウがある。アレルギー食には気をつけて取り組みたい。

・区域外就学の認定について

6 その他

・平成26年度東伯地区教育委員会連絡協議会総会・研修会

※ 平成26年5月27日(火) 午後3時から
湯梨浜町中央公民館 第2研修室

・市町村(学校組合)教育委員会委員研修会

※ 平成26年8月1日(金) 午後(未定)
セントパレス倉吉

・次回教育委員会 定例会 5月28日(水) 午後 1時30分から